

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



広野っ子



酒田市立広野小学校便り

令和2年6月15日

地域の力 多方面にわたりご協力をいただきありがとうございます。



2年生 えだまめの苗植え



5年生 田植え体験学習



1年生 さつまいもの苗植え



広野小見守り隊のみなさんの活動

広野小学校では、さまざまな場面で保護者のみなさんや地域のみなさんの協力をいただいています。今年度は、学校のスタートが例年よりも遅くなり、削減した行事もありますが、さっそく田んぼや畑の先生として地域のみなさんのお世話になっています。また、環境整備として、三耕園への花の植栽もご協力いただきました。見守り隊のみなさんにも、子どもたちの安全な登下校のために毎朝ご尽力いただいております。7月からはクラブ活動も始まり、そこでも地域のみなさんからお世話になります。

今年度から、小学校では各教科の授業で扱う内容や学校教育のあり方について規定している学習指導要領が新しいものになりました。その中には、地域の方々に今まで以上に学校教育についてご協力をいただき、地域と学校が連携して地域社会に生きる子どもを育てるといった内容があります。広野小学校は、今までもこの内容を先取りしてご協力をいただいておりますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。学校の教育活動の情報をどんどんお知らせしていきたいと思っておりますので、どうぞお気軽に学校にいらして下さい。



校長室前に国際理解コーナーをつくりました。ご来校の際にご覧ください。

通学路の変更について

国道7号線の4車線化の工事に伴い、信号の移設等の関係で6月8日から通学路が変更となりました。上中村・下中村・末広の児童の通学路が変わっています。信号が移動した関係で、国道7号線の歩道を歩く区間がありますが、車両が侵入できないようなガードパイプ（当面はコンクリート製の防護柵）を設置してもらい、誘導員も配置されています。冬期間の除雪も通学路は優先的に行われるそうです。まだまだ、工事は続きますが、子どもたちの安全な登下校のために地域の皆様方のご協力をこれからもよろしくお願いいたします。気になる点がありましたら学校までお知らせください。

1年生をむかえる会を行いました



6月9日、朝会で1年生をむかえる会を行いました。上級生と対面しての仲間入りの会です。本来であれば4月に行う行事ですが、今年はコロナ対応で遅くなりました。なるべく全校が一ヶ所に集まることも避けなければならぬので、朝の短い時間を使いました。準備期間がほとんどない中、上級生が心のこもった会を開いてくれました。1年生も、大きな声で元気よく発表することができました。

校長講話の内容より～世界に目を向ける子どもを育てたい～



児童だけではなく、保護者のみなさんや学校にいらっしゃった方々からも「校長先生の背広の襟のバッジは何ですか？」と聞かれます。6月2日の校長講話で子どもたちには話したのですが、これは国際連合で進めているSDGsのバッジです。サスティナブル・ディベロップメント・ゴールズの頭文字をと

ったもので、日本語に訳すと持続可能な開発目標という意味です。いろいろな教科の教科書の中に「持続可能な社会」という言葉や、SDGsのアイコンやロゴマークが使われています。

今の世界の状況は、「今まで我々がしてきた結果である。」といわれます。それを本校の児童を含む世界中のこれから人生100年時代を歩む子どもたちに引き渡す際に、今よりもいい状態にするのは、「今我々がどうしていくかということだ」というのがSDGsの根底にあります。このまま使っていくと石油やガスはあと50年ほどでなくなり、石炭もあと100年くらいでなくなります。同じく、50年後の海は魚の数よりプラスチックごみの数のほうが多くなるそうです。日本の生活からは想像もできないような過酷な環境の中で暮らしている子どもたちもたくさんいます。今、このようなことをそのままにしておくと10年後には今より生活しにくく、バランスが悪い世の中になります。10年後の2030年が今よりも世界のすべての人にとって良い世の中になっているために今から行動を起こそうというのが、SDGsです。「世界中のすべての人に」というところが大切で、SDGsの基本的な考え方は誰一人取り残さない、英語ではNo one will be left behindといいます。学校の考え方と同じです。

校長室前のSDGsの掲示に興味を持つ子どもたちが増えて喜んでいるところです。「ここに住んでいる自分は世界のために何ができるのか。」こんな考えを持ち、今自分が住んでいるところから行動を起こすことのできる子どもたちを育てていきたいと思います。

